



提携25周年記念

姉妹都市カナダ・ホワイトホース市派遣市民団員募集

姉妹都市提携25周年を記念して、派遣市民団員を募集します。美しい森と湖、カナダの圧倒されるほどの大自然の中で、現地の人たちとの心温まる交流を体験しましょう！



派遣期間 4月13日(水)～19日(火)7日間※添乗員が市役所から全行程同行します。

訪問先 カナダ・ホワイトホース市(バンクーバー経由)

行程 4月13日(市役所集合～成田発)…一路ホワイトホースへ、4月13日～15日(ホワイトホース滞在・3泊)…歓迎レセプション、市内観光、お別れ会などにより交流を深めます。(ホワイトホース市は秋から冬にかけてオーロラの観測地としても有名です)、4月16日～17日(バンクーバー滞在・2泊)…半日市内観光およびノースバンクーバー観光(バンクーバー市は、「世界で最も住みやすい都市」ランキングで何度も1位を獲得している美しい街です)、4月18日(バンクーバー発<日付変更線通過>)、4月19日(成田着～市役所解散)※日付は現地時間。

対象 18歳以上で市内に在住・在勤の方

定員 30人(先着順。定員になり次第締め切ります。)※最少催行人数15人。

参加費 1人258,000円(全食事付き、諸税・燃油サーチャージを含む。2人1室洋室ツイン利用、15人以上参加の場合)※シングルの部屋をご希望の方は追加料金が掛かります。

※金額は燃油サーチャージや航空運賃の大幅な変動および参加人数により多少変動する可能性があります。※国際情勢の変化などにより、やむを得ず中止することがあります。

申し込み方法 1月4日(火)～2月10日(木)の間に、市市民活動課窓口または電話でお申し込みください。

申し込み・問い合わせ 牛久市国際交流協会事務局(市市民活動課内) ☎内線1633

聖画 小川芋銭

芋銭と俳句雑誌『ホトトギス』②

今回は俳人芋銭の「ホトトギス」誌上での活躍の話をしましたが、今回は挿絵の掲載が始まる以前の挿絵画家としての芋銭と「ホトトギス」とのかかわりについて解説したいと思います。

芋銭は募集裏絵に応募、4等に入選し、明治33年10月号に掲載されました。題は「秋のはじめ」。農村の風景を描いたものでサインは芋銭坊。ホトトギス誌上初

めでの挿絵です(図1)。
また、同誌上の募集俳句、題「家」に

「夕霧や木の子飯たく^{たま}杓か家」(内藤鳴雪選)
「鶏頭に庭一坪の借家かな」(子規・碧梧桐選)

が入選しています。

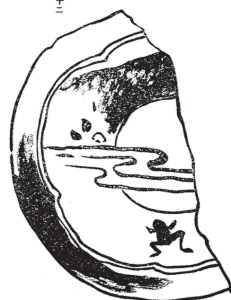
明治34年1月号では募集図案「瓦當」(※注)に応募し、等外として図案が掲載されます(図2)。同時に募集俳句、題「河豚」に、

「言葉荒く河豚買ふて去る女かな」(虚子選)

が入選しています。

これ以降、約10年間、ホトトギス誌上に芋銭の作品などを見ることはできません。芋銭が「ホトトギス」の挿絵画家としてたくさんの挿絵を掲載することになるのは、明治43年4月号からのことになります。

(※注)瓦當：屋根の先端にある円形または半円形の軒丸瓦のことです。



↑「瓦當」の図案(図2)



↑「秋のはじめ」(図1)

小川芋銭研究センター学芸員 秦 美紀子